

1) システムの名称：

RPA ツール DigiWorker (デジワーカー)

2) 対象業務、電子カルテシステム内での位置付け：

2.3. その他 (RPA ツール)

3) 特色：

RPA ツール DigiWorker は、誰でも簡単に導入できる RPA です。価格を抑えシンプルな機能で構成されており、金額や敷居の高さで RPA の導入を見送られていた方にもおすすめです。診療業務での利用はもちろん、経理などの事務部門や情報システム部門など様々な部署・シーンでご利用いただけます。

RPA (Robotic Process Automation) とは

データを収集・加工しシステムに登録するといった、オフィス業務自動化の取り組みやソフト自身を指す言葉です。働き方改革を推進するキーワードとして、単純作業を自動化する RPA に注目が集まっています。RPA は、人手不足を補う以外に、従業員をルーティンワークから開放し、より生産性の高い仕事にシフトすることが出来ます。

4) 画面／構成図を含めた分かりやすい説明：

■こんな場面で活躍します

ファインデックスの RPA ツールは、診療部門から事務部門まで、データの収集や登録などこれまで人間が行ってきた様々な業務を自動化します。データの見落としや入力ミスもなくなり業務の質向上も図れます。

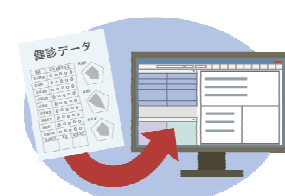
日報・月報などのレポート作成

各診療科や部門で作成している日報や月報を自動的に作成します。定期的に必要なデータを収集しレポートを生成。研究用データの収集や分析にも活用できます。



健診結果などの転記作業

健診システムで管理しているデータを電子カルテなどに自動的に転記します。システム連携を構築することなく、定期的にデータを転記し即座に閲覧が行えます。



従業員の勤怠労務管理

日々の労働時間を積算し、過重労働に繋がりそうな従業員を自動で検出します。月次だけでなく日次でデータを集計することで、月内の労働時間管理も行えます。



毎月の経理データ入力業務

日々発生する入金データのチェックや消込、売掛金・買掛金のデータ登録や売掛金の消込、交通費などの経費精算の整合性チェックなどの作業を自動化します。



■DigiWorker の 3 つの特長

1. 誰でも簡単に使える

業務シナリオの設定には、複雑なプログラム設計や専門的な知識は必要ありません。多彩なアクションボタンと、画面上からデータを取得する技術を用いて簡単にシナリオを作成できる為、業務部門の方だけでご対応いただけます。

2. 低価格

DigiWorker は導入しやすい価格を実現しました。導入後、追加コンサルタント費用が必要になることはありません。

3. すぐに始められる

PC1 台から動作させることが可能なので高価で複雑なサーバは必要ありません。作成できるシナリオ数に制限はない為、スモールスタートで一部署から始めた後に社内全体へと展開していくことで大きな効果につながられます。

■シナリオ作成・実行

実行したいアクションをボタンから選択します。簡単なステップを繰り返すだけなので、プログラムや IT に詳しくない方でもあつという間にシナリオを作成できます。シナリオが実行されると自動的に画面が操作・展開され、予め設定した内容に従い DigiWorker がデータの収集や登録等の日々の業務を行います。

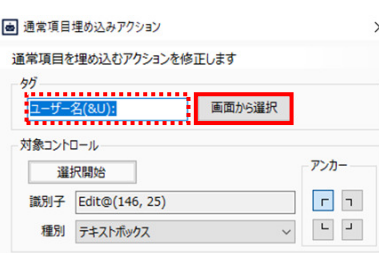
Step1

実行したいアクションを選択



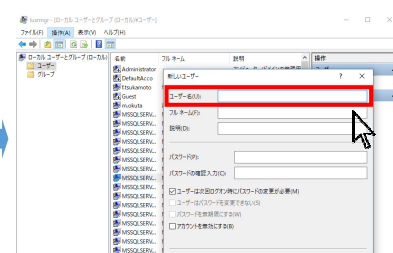
Step2

タグ入力/[画面から選択]をクリック



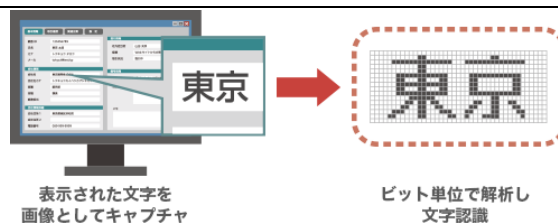
Step3

データの埋込先を画面上で選択



■ファインデックス独自の機能

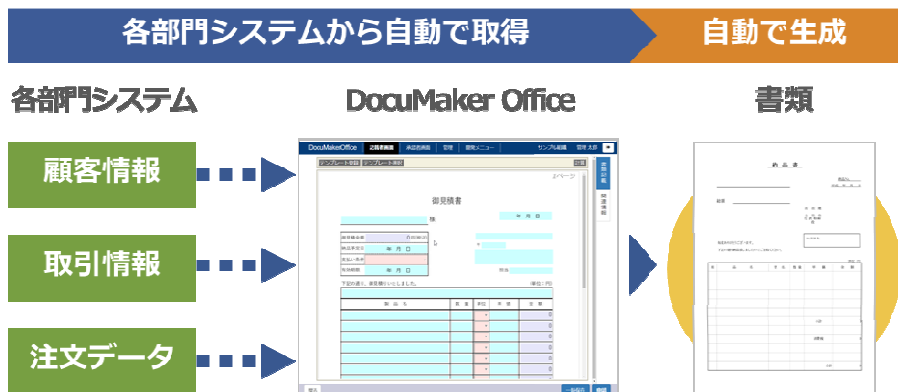
精度の高い業務自動化には、画面上に表示されている文字認識が欠かせません。一般的な文字認識技術（OCR）では認識精度に限界がありますが、当社では独自特許技術“BCR”により100%の精度での文字認識を実現しています。このBCR技術を用いることで、基幹システムやWebブラウザなど、普段の業務で利用している様々なアプリケーションからデータを取得することができます。



特許第 6080586 号, PCT/JP2013/059508

■文書システムとの組み合わせで広がる活用法

様々な業務の中でも負担が大きい“文書作成”。事務部門では契約書や請求書、納品書、発注書などの文書が日々作成されていますが、これらの業務を自動化することで業務負担の軽減や入力・転記ミスの防止が図れます。ファインデックスの事務部門向け文書管理システム DocuMaker Office を RPA と組み合わせることにより、複数のシステムからデータを取得し自動的に文書を作成したり、作成した文書を検索性・一覧性のあるデータベースとして構築したりできます。



5) 標準化への対応状況、未達成の場合対応予定および対応のための追加費用の有無：

未対応

6) 動作環境（ソフトの場合）、ハードスペック（ハードの場合）：

■構成 ※電子カルテ相乗りを想定の為、推奨スペックを記載

オペレーティングシステム：Windows 7, Windows 8.1, Windows10（※一部機能制限有）

CPU：Intel Pentium プロセッサー 以上

メインメモリ：4GB 以上

画面解像度：SXGA(1280×1024) 以上

<DB 版の場合>

DBMS：Microsoft SQL Server 2012 Express 以降のバージョン

7) 稼働までに必要な作業・期間：

病院担当者様と打合せ（3 回程度）・通常 5 日程度

8) 価格（桁数（日本円における桁数）、「ご相談」は不可、桁数帯・金額・金額帯を入れても良い）：

初年度ライセンス費用：6 桁

初回導入作業費用：利用内容、範囲によって異なります。

2 年目以降ライセンス費用：上記年額ライセンス費用と同額

9) 保守の内容と費用：

■保守内容

システム問合せ・トラブル対応

■保守費用

費用は年額ライセンス費用に含まれる

10) 問い合わせ先（販売会社 担当者、URL、e-mail 等）および開発元（もし別途あれば）：

株式会社ファインデックス（旧ピーエスシー）

<https://findex.co.jp>

東京本社 〒105-6133 東京都港区浜松町 2-4-1 世界貿易センタービル 33F TEL:03-5408-3745 FAX:03-5408-3744

四国支社 〒790-0003 愛媛県松山市三番町 4-9-6 NBF 松山日銀前ビル 11F TEL:089-947-3388 FAX:089-947-1133

大阪支店 〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜 2-6-18 淀屋橋スクエア 11F TEL:06-6220-1401 FAX:06-6220-1402

※弊社 HP のお問合せフォーム（医療システム・サービス）をご利用ください。

https://findex.co.jp/inquiry/inq_pro.html